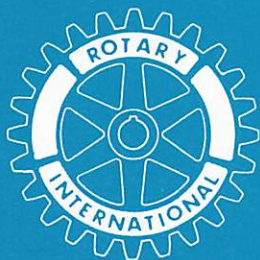


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 池森 由幸
 幹事 足立 一郎
 広報・会報委員長 桎尾 富二

No.19

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルシー

今日の例会
 第1388回 平成23年11月29日(火)
 友愛の日

先週の例会
 第1387回 平成23年11月22日(火) 晴
 クラブフォーラム (地区大会報告)

◆我等の生業

◆出席報告

会員 42(37)名 出席 28名
 出席率 75.68%
 前回 11/8(修正出席率)97.06%

足立幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は4階楓の間にお集まり下さい。

池森会長挨拶

土曜日、日曜日の地区大会にご参加下さいました皆様、大変ご苦勞様でした。

今期のガバナーが常日頃仰っていることの一つに「会員増強」があります。ここ数年の命題でもあります。国際ロータリーのカルヤン会長も国際ロータリーから配信されているアナウンスの中で会員増強について特に述べられています。今日は、このことについて述べさせていただきます。

カルヤン会長はご存じのようにインドの方です。また、国際ロータリーの本部はアメリカ合衆国にあります。この両国では、未だに人口は増加の一途をたどっています。しかるに、我が国では2005年をピークに人口減少の坂道を転がり初めています。昨年の国勢調査で初めて人口減少が正式に確認されたことは皆さまご承知の通りです。この人口減少は社会的に極めて大きな意味を持つ事象で、ロータリー活動においても大きな意味を持ちます。今まで、新規のロータリアンの供給元年代の生産者人口が徐々に減少しており、年少人口においては、2005年と2010年の5年間に既に約5%も減少してしまっています。確かにここ数年の経済事情により先進西欧諸国では経済的な停滞があり、その影響によってロータリークラブ会員の減少が続いています。グローバルに見れば

ば経済事情が会員数減少の主原因とされています。それもあって、会の発展を考えるに、若い人々をロータリーに呼び入れ活性化を図る会員増強政策が推奨されています。グローバルな視点では人口増加が続いていますので、国際ロータリーの指導者が会員増強を会員増加と捉えることは了解できます。しかし、前述のファンダメンタルな問題である人口問題を考えるにつけ、既に人口減少の坂道を下り始めた我が国での会員増強とは、会員の減少抑制、もしくは会員のアクティビティー向上をその具体的な第一目標としてはいかがでしょうか。そのような含みもあって、会員増加と言う日本語訳を使うのではなく、会員増強というフレーズを用いているように思われて仕方ありません。国際的な組織である以上、世界共通のグローバルリズムに準じる基本的な考え方は必要でしょう。一方で、グローバルな考え方に基づくものの、具体的な手段・戦略は各社会環境に即した個別のものであるべきではないでしょうか。

ともあれ、我がクラブでもここ数年、友愛の日にお友達を例会にお連れ下さって、千種クラブならではのアウトホームな雰囲気を感じ取ってもらうことを目的として、当日会費を会が負担することにしています。皆様方、どうぞお友達を例会にご同伴下さい。よろしく願い申し上げます。

地区大会報告

大会1日目 2011年11月19日(土)
 大会2日目 2011年11月20日(日)
 会場 ウェスティンナゴヤキャッスル
 ホストクラブ 名古屋瑞穂ロータリークラブ

◆竹内克豊君

第一日目 地区指導者セミナー



2011-2012国際ロータリー第2760地区 地区指導者育成セミナーがあいにくの雨模様のなか、約200名の参加をもって開催された。

今井静夫 RI 会長代理、松前憲典ガバナーご夫妻ご臨席のなか、記念講演として「ロータリー・リーダーシップ研究会について」と題し、国際ロータリー研修リーダー(2010, 2011)の中村靖治パストガバナーの講演が執り行われた。

冒頭、ロータリーの目的は世界理解・親善・平和の3つであり、理想とするクラブ像とは、「親睦」と「奉仕」このバランスが取れた活動が行われているクラブで、親

睦、即ち友情は基本、例会を通じて深められる必要がある。ドラッカーの言葉を引用され、会長は「正しいことを行う」、幹事は「正しくことを運ぶ」とした上で、幹事においては実際の運営をする立場であり、いかにその役目が重要か胆に銘ずるよう諭された。

RLI：ロータリー・リーダーシップ研究会の概要

1992年、ロータリアンの指導力開発の目的としたプログラムとして設立され、RIから多地区合同プログラムとして認証されたものである。

RLIが設立された背景・目的

ロータリアンが、ロータリーに関する十分な知識を持ち、効果的なクラブを造り、各種プログラムを推進させる為に十分な積極性を発揮できる様、一般的な会員を対象に指導力育成の機会提供を目的としている。

どのように進めるか？

基本コースはパート1?3と卒後コースの4部門に分かれて、1グループ10?15名前後を対象とした円卓会議、対話形式を基本とした研修です。

どのような内容か？

本部から提供されたテキストを基本として、日本の国情に合った内容に一部修正を加え、又、米山記念奨学事業なども加えています。

誰が進めるのか 研修リーダー

RLI本部から派遣されたインストラクター(RI本部から派遣されたインストラクターから直接ワークショップ研修を受け、承認された人達が当り、1日6科目で1パートが完了できるよう、プログラムされています。

修了者は

本コース、パート1?3修了者には修了証書、認定バッジが送られ、リーダーとして活躍を期待。受講期間・場所は問わない日本統一の内容です。

次年度RI会長の田中作次氏よりのメッセージを披露され、「できない理由を探すより、できる方法を探す習慣を」とのことであった。

その後、ロータリーを樹で表したスライドを用いて、樹の善し悪しはその実においてわかるとされた。

最後に、ルーズベルトが大統領就任時に妻から贈られた言葉を引用され自分の思った信念を貫きなさい。但し、忍耐・謙虚を忘れずに、自信を持って！と参加した次年度会長・幹事へのエールで結ばれた。

その講演内容はRLIに留まらず、ロータリー全般、多岐に渡るものであり、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

◆池森由幸君 第一日目 本会議



地区大会では、RI会長代理の今井鎮雄様のご挨拶が印象的でした。今井様は91歳、奥様が90歳とお二人合わせて181歳で会長代理を務めております・・・とのご挨拶からはじまり、カルヤン会長と国際ロータリーの理事をお務めされていた頃の逸話を交えて、ロータリアンのあるべき姿について力強く語られるお姿は、壮年まっただ中の印象を受けました。今、世界では、かつて、持てる側として分かち合った国々の会員が減少している実情を憂え、ロータリーの原点に立ち戻って分かち合う心を持ち続け、深い人類愛に根ざした「共に生きる姿

勢」を継続しようではありませんか、と強く語りかけて下さいました。あのように、高齢になっても強い信念を抱き、熱く語ることが出来るように日比精進を積み重ねなければならないと、心に刻んだ一日でした。

本大会議決は10項目に及んでいましたので、詳細は当日のプログラム37-38ページをご参照下さい。来年の地区大会は安城ロータリークラブがホストを務められ、10月27-28日にウエスティン名古屋キャッスルホテルで開催されます。

また、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では名古屋在住のソプラノ歌手下垣真希様による日本の歌を中心とした何曲かが披露されました。彼女は、未だドイツが東西に分断されていたところに瑞穂ロータリーから国際ロータリー財団奨学生としてケルン国立音楽大学に留学され、2000年のハノーバー万国博閉会式でアジアを代表して独唱された経歴をお持ちの方で、その時のお礼も述べられていました。最後の手に手をとっての合唱時には、タクトを振られてソプラノで朗々と合唱に加わって下さいました。

◆榎尾富二君 第二日目 本会議



国際ロータリー第2760地区松前憲典ガバナーより名古屋市の健康福祉事業に対して100万円の寄付金贈呈がありました。その後河村たかし名古屋市長の挨拶があり、名古屋の医療、健康福祉は日本一である。市民はワンコイン(500円)で肺がん、大腸がん、胃がん、前立腺がん、乳がん、子宮がんなどの健診が受けられる。また高齢者への肺炎球菌ワクチン接種も半額の400円補助を出している、との話がありました。

次期ガバナー千田毅氏(名古屋東ロータリー)の紹介・挨拶、創立50周年の犬山ロータリークラブの表彰、50年在籍者2名の表彰、RI関連、米山関連の表彰もありました。

記念講演として「観光とリニア中央新幹線」の演題で東海旅客鉄道相談役の須田寛氏(名古屋ロータリークラブ)からお話がありました。特殊な金属を-269℃に冷却した時一度電流を流すと永久に流れる超伝導現象が起きる、これを利用したモーターを直線状に伸ばして推進力として利用したものがリニアモーターカーであるとのことです。1962年から開発が始まり、'97年には時速500kmを突破、'03年には有人走行581kmの鉄道世界最高速度を達成しました。東京-名古屋間を約40分で結び'27年完成予定で計画を進めています。'45年には東京-大阪間1時間の走行を目指しており、総工費は約8.4兆円でJR東海が自前で調達するとのことです。また中間駅を各県に一つ設置予定ですがこの費用もJR東海が負担することになるようです。日本の交通網を整備し、エネルギー問題も解決しつつ、環境保全も考え、日本の国づくり、地域づくり、街づくりに貢献したいとのことです。約1時間原稿もなく、よどみなく、わかりやすく講演され感銘を受けました。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会 平成23年12月6日(火) 3階 錦の間
講演 “道路の建設から利活用の時代”
名古屋市緑政土木局路政部道路利活用 課長 大井健司様